

54人が大人の仲間入り！  
20歳を祝う成人式が開かれる

1月10日、中央公民館で、20歳を祝う成人式が開催されました。今年の新成人は54人。式では、布瀬勝明教育委員長、佐藤多一町長、鹿中順一町議会議員長、日下太郎道議会議員から祝辞を受けました。  
続いて、新成人を代表して菊地麻子さんが町民憲章を朗読、北口雄大君と蒔田彩乃さんが成人の誓いを述べ、木内奈津季さんが町長から記念品を受け取りました。  
その後、北見室内管弦楽団によるお祝いの演奏会や津別町を紹介するビデオの上映が行われました。  
式典は、安部照也選挙管理委員会委員長の万歳三唱で終え、記念撮影を行いました。参加者は、友人と写真を撮ったり、メールアドレスを交換するなど再会を楽しんでいました。



成人の誓いを述べる北口君と蒔田さん



成人の年代も平成生まれになりました

全道リコーダーコンテスト金賞  
活汲小中学校8年連続全国出場



1月8日、札幌サンプラザホールで開催された第24回リコーダーコンテストで、活汲小中学校の小学生14人、中学生5人の計19人が、中学校部門の合奏の部で金賞を受賞し、3月28日に東京都で開催される全国大会への出場を決めました。

1月18日、役場を表敬訪問した活汲小中学校の細川晴喜君（小学6年生）と山田愛果さん（中学2年生）は、「僕たち小学生が、中学生の部に出たが、楽しく演奏できました。全国でも花村賞を取れるよう頑張ります。大会では緊張しましたが、みんなのおかげで、金賞を取ることが出来てよかったです」と抱負を話してくれました。  
阿部博道教育長は、「全国大会でも頑張つて演奏してきてください」と激励の言葉を送りました。

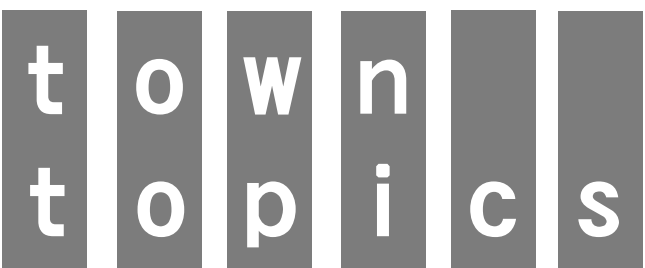
冬のスポーツに元気に挑戦！  
少年少女スケート教室が始まる

今年も子供たちの冬休みを利用したスケート教室が開催され、寒さの厳しい冬のスポーツに挑戦しました。

1月12日から14日までの3日間、少年少女スケート教室（社会教育課主催）が町民スケートリンクで行われ、6人の小学生が参加。体育指導員と一緒にパイプ椅子を押し、滑る感覚を身につける練習などを行いました。



椅子を押し滑る感覚を身につけます



まちのわだい

町民の善意で寄せられた  
カレンダー 展示即売会が開かれる

1月10日、町内のボランティア団体「かわら版福祉基金」（大東勲代表）が主催して、今年で14回を迎えたカレンダー即売会が、中央公民館・ロビーで行われました。

家庭や企業の方から善意でお寄せいただいたカレンダーを集め、会場には、朝早くから多くの人を訪れ、大型の日めくり、風景写真、動物写真、絵画、卓上型など好みのカレンダーを時間をかけて選んでいました。



カレンダー展示即売会の収益金は、中央公民館図書室の充実に活用されます。ご協力ありがとうございます。

紙いっぱいのにびのびと  
新春の思いを筆にのせて



1月5日、中央公民館で第43回新春書初席書大会が開催され、町内の小中学生58人が参加しました。毎年、商工会青年部が主催しており今回で43回目になります。小学生は「ひろい空」や「美しい心」、中学生は「天地創造」や「大自然の美」など各学年ごとに定められた課題に力強く筆を走らせました。

また1月24日には、金、銀、銅、に選出された40人と特別賞に選ばれた17人が商工会で行われた表彰式に出席し、表彰状が授与されました。

12月22日、津別高校で海外派遣報告会が行われ、研修に参加した5人の生徒がニュージールランドでの生活や感想などを全校生徒の前で発表しました。前回までは10日間だった研修期間が今回から英語や文化にふれる機会を充実させるため、15日間に延長されました。  
始めに、ニュージールランドでの研修模様をまとめたビデオを鑑賞した後、個々で決めた研修テーマに沿い、一人ずつ研修発表を行いました。発表の中では、「学校の授業中でも食事をしていた」「英語が聞き取りやすくなった」など感想を述べていました。



津別高校海外研修報告会  
異国の文化を肌で感じる

1月16日、農業体験塾「だいち」の調理体験（津別町農業協同組合主催）が行われ、町内の子供たち7人がグラタン作り挑戦しました。食材は津別産のじゃがいも、玉ねぎ、かぼちゃなどを使用。津別町農業協同組合青年部の大松部長は、「みんなに野菜を好きになってもらいたくて野菜グラタンにしました。津別産の食材を食べてください」と挨拶。子供たちは青年部の手を借りながら食材を調理。グラタンが完成すると子供たちは大喜びし、おいしそうに野菜も食べていました。



地元の食材を食べて！  
「食育」で調理教室開催

力を込めて「べったん」  
「アソビバつべつ」で餅つき



1月9日、町内の小学生を対象にした餅つき大会が中央公民館で行われ、26人の子供たちが参加しました。毎年鏡開きにあわせて実施されているもので、この日は高校生ボランティアの協力も得て実施。町内で生産されたもち米10キログラムを使用しました。  
最初に高校生がもち米をつぶした後、子供たちが用意された小さい杵を順番に振っていました。つきあがった餅は高校生らがしょう油、あん、きな粉などをまぶして子供たちに配り、みんなでおいしく味わいました。